

内容ごとの正答率			観点別の正答率		
内容	東京都	平井東小	評価の観点	東京都	平井東
数と計算	83.7%	84.0% ↑↑	数学的な考え方	77.1%	83.0% ↑↑
量と測定	72.0%	76.1% ↑↑	表現・処理	83.0%	84.3% ↑↑
図形	73.1%	79.3% ↑↑	知識・理解	78.2%	80.7% ↑↑
数量関係	85.4%	89.4% ↑↑			
総合	80.6%	82.7% ↑↑			
内容ごとの正答率からみた課題			観点別の正答率からみた課題		
<ul style="list-style-type: none"> <li>総合的な正答率は、82.7%と大変良好であり、算数への関心の高さを示している。 <ul style="list-style-type: none"> <li>「数と計算」は、84.0%であり、基本的な知識・技能がよく身につけていると思われる。</li> <li>「量と測定」は、およそ76.1%と良好である。</li> <li>「図形」は、79.3%と都や区を上回っており、良好といえる。図形の基礎的な知識や処理の仕方ができていると思われるが定規を1組使って確かめる問題は都・区と同様低かった。</li> <li>「数量関係」都や区を大きく上回り89.4%と年々のびている。</li> </ul> </li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>3つの観点において正答率が80%以上であり、良好であり、どの観点も東京都の平均を上回っている。</li> <li>「数学的な考え方」83%は都を大きく上回り、考え方を育てる指導を根気よく行うことの効果が現れている。</li> <li>「表現・処理」も都・区より上回っており、昨年より伸びている。</li> <li>「知識・理解」は昨年のより80.7%と伸び、都や区を上回っている。</li> </ul>		
指導方法改善のポイント					
<p>&lt;関心・意欲・態度を高める指導&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○問題の見通しを持って解決できるようにしたり、達成感を持てるようにしたりすることで、算数を学習する楽しさが味わえるようにする。</li> <li>○児童のふりかえりカードなどを利用し、児童の関心・意欲の持続を支援していく。</li> </ul> <p>&lt;考え方を育てる指導&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○数量関係の計算を工夫する問題において法則を積極的に活用し、問題解決に慣れさせていくことで力をつけていく。また数量関係を式表示する問題は図や表をかくことで具体的に問題を捉えることができるようにする。</li> <li>○指導計画の中に「考える場」を設定し、考え方や判断の仕方を学ぶことができるように自分の考えを表現できるような活動を取り入れる。</li> </ul>			<p>&lt;知識・技能の指導&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○演算決定においては数直線や言葉の式等で問題場面を捉え、立式する力をつけていく。</li> <li>○計算の意味や計算の仕方を考えることで、計算技能の確実な定着を図っていく。</li> <li>○図形においては作業や体験的な活動を多くすることで図形の性質を調べたり、図形を多面的に見る力をつけていく。</li> <li>○作業的・体験的な活動などの算数的な活動をさらに充実させる</li> </ul> <p>&lt;学習形態の工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○少人数指導や習熟度別指導を行い、一人ひとりの児童に対応した支援をしていく。</li> </ul> <p>&lt;家庭との連携&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学校と家庭の連携をこれからも大事にし、学習の復習、反復を積み重ねていく。</li> </ul>		